


## 概要報告書

2021 年度

事業種別	広域安全事業
団体名	特定非営利活動法人マザーハウス
事業名	当事者体験に基づく、全受刑者対象の再犯防止プログラムの実行
<p>受刑者の更生支援では、当法人独自の冊子「回復プログラム」を活用して、受刑者が自身の過去を振り返り、今後どうするべきかについて、当法人スタッフとの一対一のやり取りを重ねながら考え、過去の過ちを繰り返さないよう目標と意志を持って社会復帰に臨むことを目指した。</p> <p>出所者の社会復帰支援では、学生や地域との交流を含むオンラインイベントの実施など、これまで以上に社会参加を意識した日程・プログラムを組み、当事者スタッフとともに活動した。</p> <p>他には、孤独になりやすい刑事施設において、受刑者同士の繋がりとなる会報誌『マザーハウスたより』の発行や、文通活動、啓発活動を継続した。中でも、人数調整の関係で長らく停止していた文通ボランティアの募集を再開したことに対する反響は大きく、受刑者側のみならず社会の側にとっても注目されている活動であることを再認識した。現時点で、文通が継続しているペア数は、1000以上にのぼる。啓発活動としては、大学での講演・講義や、地域での講演、高校生とのオンラインイベントの実施、テレビ・新聞取材など、当事者スタッフとともに、社会と関わるイベントに多数参加できた。</p>	
	
<p>十二月に龍谷大学で行った講演会「元受刑者として生きる ～これまでの十年、これからの十年～」の様子</p>	

注) 上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全研究財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。